

## 『水辺環境の整備と健全な水循環をすすめます』

### １．目指す姿

暮らしに清流の流れる川と“春の小川”の再生  
豊かな涵養水源を守る森林と山麓林の育つ都市  
健全な水循環をすすめる箕面の街

### ２．指標

### ３．現状と課題

童謡の春の小川のゆったりとした水辺生物空間のある小川が姿を消し、三面張りの排水路が出現、親しんできた川は危険な空間に変貌し、洪水を一刻も早く海に注ぐ大きな水路に変えられています。近年、多自然型の河川環境整備が始まり、治水と共に環境重視の川づくりが箕面川や千里川の一部で整備され、水辺で遊ぶ元気な子どもたちの歓声も増えています。

一方、国定公園内の箕面川では箕面ダムにヘドロが堆積し洪水と共に流れ出て、川に転がっている岩石や淵や瀬の水辺の奇岩にヘドロ付着し、川底の岩石にヘドロが付き淵にも泥が溜るなど、国定公園としての豊かな清流はその姿を消し、近年、トンネル湧水により箕面川の水量も減り、国定公園の溪流と水辺環境は後退し続けています。これ以上の水涸れを第二名神事業で繰り返さず国定公園を守ることが重要です。

森林や山麓林の涵養水や自噴の“坪”の存在など人々が水辺とともに生活を営んできた歴史があり、恵みを生かし水辺環境を維持・継承し、“ゆったりとした水辺空間の春の小川”の再生めざし、快適な市民生活の基盤とすることは箕面らしさを維持していく上で大切です。

近年、都市化の進展とともに、市内から野鳥も飛来する池や川、沼地などの水辺環境が減少する傾向にあります。しかし、和みや豊かさ、潤いを求める市民ニーズの高まり、自然環境に対する市民意識の高まりのなか蛍や野鳥などの観察会活動もすすみ、身近に親しめる水辺環境の保全の創出が求められています。水は、流下、浸透などにより地表・地下を通じて河川の流水や上水道の地下水源として、水量確保や水質浄化、生態系の保全に大きな役割を果たしながら循環しています。

都市農業を支えるとともに、市民の生活に潤いをもたらしてくれる大切な自然資源で、森林や山麓林を守り豊かな涵養水を大切にし、水の汚染の未然防止に努め、健全な水環境の確保を図る必要があります。子どもたちが川に親しみ、川に住む生物とふれあい、遊び学ぶ「水辺の楽校」事業を更に協働で進めます。

親水性のある空間を創出するせせらぎ施設を市民参加による設計づくりやアダプト活動を進めます。雨水の地下浸透を市民の協力を得て促進し地下水の保全をすすめます。箕面川、千里川、勝尾寺川等のかけがいのない自然の恵みを享受し、次世代に継承するために近自然河川づくりと健全な利用を進めます。

#### 4．取組・役割分担

##### (1) 市民等が取組むこと

- ・自然観察会を続け、地域で環境を共有します
- ・「水辺の楽校」に親子で誘い合って参加します
- ・ごみのポイ捨てをなくし、川を守るアダプト活動に参加します
- ・屋敷林や河畔林など一体で親水空間を守り育てます。

##### (2) 市民等、行政が協働で取組むこと

- ・山の水涸れをなくし、ダム湖のヘドロを解消し、国定公園を守る
- ・多自然型の川造り計画を市民などとの協働で進めます
- ・親水河川造りの中で消防水利の整備を検討します
- ・農業ため池の防災貯留活用を、水利関係者を協議して進めます。

#### 5．個別案件に関する提言

##### (1) 国定公園の箕面川を守る

トンネルによる山の水涸れの防止

ダムによるヘドロ問題の解決

##### (2) 親水空間の創出と地下水の確保

水辺の楽校事業の推進　せせらぎ施設の整備と維持

雨水浸透ますの設置促進　健全な水循環を確保し“春の小川再生”

##### (3) 箕面川、千里川、勝尾寺川などの環境整備

箕面川、千里川、勝尾寺川などの堤防自転車道・散歩道

生物に配慮した多自然川づくり　防災力を高める消防水利の整備

##### (4) 農業ため池の整備

野鳥・渡り鳥も飛来する環境の保全

水辺空間と景観の保全　防災治水機能の整備

強い台風や豪雨警報時に予備放流の検討

#### 6．まちづくりの効果

緑のトンネルを流れる清流の川、“春の小川再生”

自然の恵みを享受し、次世代に継承している

快適な水辺環境のあふれる箕面の川